国際交流員カロリンのコラム

ドイツの果物
Deutsches Obst
(ドイジェス　オブスト)

初めて日本のスーパーで果物を見たとき、ドイツに比べて値段が高くてびっくりしました。

特にリンゴはドイツでは安くて、1キログラム当たり約240円で買えます。でも、私のように田舎に住んでいるドイツ人は、自分の家の庭で育ったものや近所の人からもらったものを食べることが多いです。私が初めてリンゴを買って食べたのは、一人暮らしをしていた19歳のときでした。

私の家には、10年くらい前まで、リンゴの木が3本と、洋ナシの木、サクランボの木、ミラベルプラムの木がそれぞれ1本ずつあって、毎年、夏に実がなるのを楽しみにしていました。

皆さんは、ミラベルプラムという果物を知っていますか？

日本の梅くらいの大きさで、見た目はスモモに似ていますが、ハチミツのように甘くて、とても美味しいです。

日本ではなかなか見かけない果物が、ドイツにはたくさんあります。ミラベルプラムもそうですし、他にはセイヨウニワトコ、マルメロがあります。

セイヨウニワトコは、白い花が咲いて、黒くて小さなベリーのような実がなるのですが、その花と実からそれぞれシロップを作ることができます。

マルメロは洋ナシに似た形、大きさなのですが、とても硬くて、そのままでは食べられません。茹でてからジャムやお酒を作ります。苦みがあって大人向けの味です。

私の家族が住んでいる村には、実のなる木が自生している場所があって、そこの木は村のそれぞれの家庭に割り当てられ、管理されています。私の家族は、そこにリンゴの木を8本、プルーンの木を4本、クルミの木を2本、所有しています。

子どものころは、家族と一緒に、秋になる前にその場所によく果物を取りに行きました。2～3日かけて、朝から夜まで、いくつもの麻袋や樽いっぱいに果物を収穫しました。

もちろん、全部をすぐ食べるわけではありません。そのまま食べるのは少しだけで、残りは保存のために砂糖水に漬け込んだり、ジャムやお酒、ジュースを作ったりしました。

私は子どものときから、自分が取ったリンゴで作ったリンゴジュースが大好きでした。日本のリンゴジュースと比べると、甘いというよりも酸っぱくて、たくさん果肉が入っていて、味がとても濃いので、いつも炭酸水で割って飲んでいました。

ドイツのジュースは、果物がそのままジュースになったような、果汁100パーセントや果肉入りのものです。日本よりもたくさんの種類があって、セイヨウニワトコの実のジュースやサクランボのジュースがよく売られています。

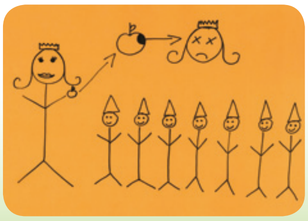
ドイツ人は、このジュースの炭酸水割りを飲んで、夏を乗り切っているんですよ！

国際交流員イベント　カロリンのLet's play Activity!

ドイツで有名なゲーム「Activity（アクティビティ）」を紹介します。ジェスチャーや絵でチームメイトにヒントを出して、答えを当ててもらうゲームで、ゲーム好きのドイツ人なら必死になってしまいます。想像力と体を使って、一緒にゲームを楽しみましょう！

- **日時**　8月22日(土)　午後2時～4時
- **場所**　薬師寺コミュニティセンター
- **対象者・定員**　中学生以上・15名
- **参加費**　無料
- **申込期間**　8月11日(火)～20日(木)
- **申し込み・問い合わせ先**
  市民協働推進課　☎(32)8887

ヒントの例）
この絵から連想される童話はなに？



TAKE FREE

広報しもつけを設置してくださるコンビニエンスストアなどのお店を募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課☎(32)8886までご連絡ください。

PC・スマホ
市ホームページ